

授業 コード	11322	科目名	持続可能性経営論		担当者		井上 尚之		
		副題	サステナビリティ経営を知ろう！	開講期	前期	単位数	2	DP対応	S1,S2,K1
【授業概要】									
サステナビリティ経営を翻訳すると持続可能性経営となる。持続可能性経営とは環境問題、格差是正、失業率減少などを実行して社会問題を解決していくことに、『持続可能な開発(Sustainable Development)』を加えた経営のことである。本講義ではこの持続可能生成経営を分かり易く解説する。									
【到達目標】									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能性経営をプレゼンできる。</li> <li>・ISO26000をプレゼンできる。</li> <li>・企業市民制度、GRIをプレゼンできる。</li> </ul>									
【授業方法・計画】									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読ませ、意見を聞く双方向の授業。</li> <li>・教科書持参が必須。</li> <li>・ディスカッションなどアクティブラーニングも一部採用する。</li> </ul>									
第1回	日本における環境経営の本格始動 ISO14001:1996発行								
第2回	ISO14001の概要								
第3回	トヨタの環境経営								
第4回	3Rからゼロエミッションへ								
第5回	環境経営とサステナビリティ経営(持続可能性経営)の違い								
第6回	社会的な影響に配慮するとはどういうことか トリプルボトムラインの登場								
第7回	2003年は日本のCSR元年								
第8回	ISO26000とサステナビリティ経営(持続可能性経営)								
第9回	CSRの国際規格ISO26000の発行								
第10回	ISO26000における社会的責任を果たすための7つの原則								
第11回	社会的責任の7つの中核主題								
第12回	組織にとってのISO26000を順守するメリットは何か？ISO26000の具体例								
第13回	中小企業にISO26000を広め定着させる企業市民制度								
第14回	GRIとは何か？、テスト(50分)								
【準備学習・復習】									
<p>準備学習:教科書を利用するので、各回の授業範囲の教科書を読み、疑問点をノートに書く。(100分)</p> <p>授業におけるディスカッションで疑問点を解決する。</p> <p>復習:その日の授業内容をノートにまとめる。(100分)</p>									
【課題に対するフィードバックの方法】									
<p>少人数の授業であるので、授業中のディスカッションによって疑問点を解決すること。</p> <p>毎回の課題の理解は、授業中のディスカッションによって確認して理解するまで授業中に説明する。</p>									
【受講上のアドバイスおよび注意事項】									
<p>私語厳禁。私語をする者は受講させない。</p> <p>欠席が6回以上の者は単位を与えない。</p> <p>遅刻は2回で欠席1回に換算するの注意すること。</p> <p>指定席以外での受講は認めない。</p>									
成績評価方法	積極的授業参加度・授業中の発表(45%)、定期試験(55%)による総合評価								
教科書	井上尚之著『サステナビリティ経営』(大阪公立大学共同出版会、2018)								
参考書	なし								
SE2213	授業に関連する実務経験			なし					